

平成30年3月期 第3四半期決算短信 [IFRS] (連結)

平成30年1月31日

上場会社名 株式会社エフ・シー・シー 上場取引所 東

コード番号 7296 URL http://www.fcc-net.co.jp/

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)松田 年真

問合せ先責任者 (役職名) 取締役事業管理統括 (氏名) 松本 隆次郎 TEL 053-523-2400

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無:無 四半期決算説明会開催の有無:無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年12月31日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業和	引益	税引前	利益	四半期	利益	親会社 所有者に帰 四半期	属する	四半期包合計	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	127, 130	10. 9	11, 151	28. 2	11, 993	35. 4	8, 140	34. 6	7, 978	44. 2	10, 539	42. 3
29年3月期第3四半期	114, 660	△8.9	8, 696	1.6	8, 856	5. 9	6, 048	△20.0	5, 532	△20.7	7, 404	54. 9

	基本的 1 株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	158. 96	_
29年3月期第3四半期	110. 24	_

(2) 連結財政状態

	資産合計	資産合計 資本合計 親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	1 株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	
30年3月期第3四半期	172, 200	121, 505	119, 925	69. 6	2, 389. 52
29年3月期	162, 708	113, 155	111, 624	68. 6	2, 224. 12

2. 配当の状況

		年間配当金								
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計					
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭					
29年3月期	_	20.00	_	20.00	40. 00					
30年3月期	_	21. 00	_							
30年3月期(予想)				21. 00	42. 00					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業	利益	税引前	前利益	当期	利益	親会社の 帰属する	所有者に 当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	165, 000	5. 0	13, 000	15. 7	13, 800	20. 8	9, 700	29. 4	9, 500	31.9	189. 29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動):無新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更:無② ①以外の会計方針の変更 :無③ 会計上の見積りの変更 :無

(3)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	52, 644, 030株	29年3月期	52, 644, 030株
30年3月期3Q	2, 455, 809株	29年3月期	2, 455, 809株
30年3月期3Q	50, 188, 221株	29年3月期3Q	50, 188, 265株

- ※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	2
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
	(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
	(2) 要約四半期連結損益計算書	6
	(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
	(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
	(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
	(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
	(継続企業の前提に関する注記)	
	(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、インドの二輪車用クラッチの販売が増加したことに加え、米国のフォード向けや中国の四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は127,130百万円(前年同期比10.9%増)、営業利益は11,151百万円(前年同期比28.2%増)となりました。税引前四半期利益は11,993百万円(前年同期比35.4%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は7,978百万円(前年同期比44.2%増)となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

(二輪車用クラッチ)

インドやベトナムの二輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は61,209百万円(前年同期比14.4%増)、営業利益は7,948百万円(前年同期比32.9%増)となりました。

(四輪車用クラッチ)

米国においてホンダ向けの四輪車用クラッチの販売が減少したものの、フォード向けの四輪車用クラッチの販売が増加したことに加え、中国の四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は65,921百万円(前年同期比7.8%増)、営業利益は3,203百万円(前年同期比18.0%増)となりました。

地域別の状況は、次のとおりであります。

(日本)

二輪車用クラッチ、四輪車用クラッチの販売がともに増加したこともあり、売上収益は18,027百万円(前年同期 比7.2%増)、営業利益は1,692百万円(前年同期比67.7%増)となりました。

(米国)

ホンダ向けの四輪車用クラッチの販売が減少したものの、フォード向けの四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は43,555百万円(前年同期比3.0%増)、営業利益は1,228百万円(前年同期比102.1%増)となりました。

(アジア)

インドやベトナムの二輪車用クラッチの販売が増加したことに加え、中国の四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は61,661百万円(前年同期比15.9%増)、営業利益は7,402百万円(前年同期比10.4%増)となりました。

(その他)

メキシコの四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は3,885百万円(前年同期比64.0%増)となりました。営業損益は、メキシコの固定費や操業費が増加したこともあり342百万円の営業損失(前年同期は33百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は78,722百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,101百万円増加しました。これは主に現金及び現金同等物が3,568百万円、棚卸資産が1,985百万円、営業債権及びその他の債権が895百万円増加したことによるものであります。

(非流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の非流動資産は93,477百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,389百万円増加しました。これは主にその他の金融資産が1,676百万円、のれん及び無形資産が894百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は38,448百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,796百万円増加しました。これは主に借入金が2,049百万円、営業債務及びその他の債務が1,140百万円増加したことによるものであります。

(非流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の非流動負債は12,246百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,655百万円減少しました。これは主に繰延税金負債が1,437百万円増加したものの、借入金が3,302百万円減少したことによるものであります。

(資本)

当第3四半期連結会計期間末の資本は121,505百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,350百万円増加しました。これは主に利益剰余金が5,920百万円、その他の資本の構成要素が2,380百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は27,043百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は17,773百万円となりました。これは主に税引前四半期利益11,993百万円、減価償却費及び償却費9,680百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は11,029百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出8,954百万円、定期預金の預入による支出3,271百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は3,627百万円となりました。これは主に配当金の支払額2,039百万円、短期借入金の純増減額1,382百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年10月27日の「平成30年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)	
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物	23, 474	27, 043	
営業債権及びその他の債権	26, 986	27, 881	
その他の金融資産	1, 294	1,850	
棚卸資産	17, 961	19, 946	
その他の流動資産	1, 905	2,000	
流動資産合計	71,620	78, 722	
非流動資産			
有形固定資産	74, 521	74, 591	
のれん及び無形資産	3, 408	4, 303	
持分法で会計処理されている投資	140	128	
その他の金融資産	9, 389	11,066	
繰延税金資産	2, 983	2, 747	
その他の非流動資産	644	639	
非流動資産合計	91, 087	93, 477	
資産合計	162, 708	172, 200	

		(単位:日刀円)
	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	14, 373	15, 514
借入金	13, 266	15, 316
その他の金融負債	103	133
未払法人所得税	2, 095	2, 271
その他の流動負債	5, 812	5, 212
流動負債合計	35, 652	38, 448
非流動負債		
借入金	4, 040	737
その他の金融負債	607	510
退職給付に係る負債	2, 021	2, 346
引当金	36	33
繰延税金負債	6, 863	8, 301
その他の非流動負債	333	316
非流動負債合計	13, 901	12, 246
負債合計	49, 553	50, 694
資本		
資本金	4, 175	4, 175
利益剰余金	104, 908	110, 829
自己株式	△3, 409	△3, 409
その他の資本の構成要素	5, 949	8, 329
親会社の所有者に帰属する持分合計	111, 624	119, 925
非支配持分	1,530	1, 579
資本合計	113, 155	121, 505
負債及び資本合計	162, 708	172, 200

(2) 要約四半期連結損益計算書

		(十四・日/311)
	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
売上収益	114, 660	127, 130
売上原価	△96, 511	△105, 294
売上総利益	18, 149	21, 836
販売費及び一般管理費	△9, 849	△11, 029
その他の収益	589	592
その他の費用	△192	△247
営業利益	8, 696	11, 151
金融収益	524	1,015
金融費用	△357	$\triangle 172$
持分法による投資損益	$\triangle 7$	$\triangle 1$
税引前四半期利益	8,856	11, 993
法人所得税費用	△2, 807	△3, 853
四半期利益	6, 048	8, 140
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	5, 532	7, 978
非支配持分	515	162
四半期利益	6, 048	8, 140
1 株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益(円)	110. 24	158. 96
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	_	_

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
四半期利益	6, 048	8, 140
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	$\triangle 3$	0
計	Δ3	0
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
売却可能金融資産の公正価値の変動	596	1,053
在外営業活動体の換算差額	815	1, 359
持分法適用会社におけるその他の包括利 益に対する持分	△52	△13
計	1, 359	2, 399
その他の包括利益合計	1, 356	2, 399
四半期包括利益	7, 404	10, 539
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	6, 922	10, 359
非支配持分	482	180
四半期包括利益	7, 404	10, 539
親会社の所有者 非支配持分	482	18

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

親会社の所有者に帰属する持分

		親会社の所有者に帰属する持分						
				その他の資本の構成要素				
	資本金	利益剰余金	自己株式	在外営業活動体 の換算差額	売却可能金融資 産の公正価値の 変動			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円			
2016年4月1日時点の残高	4, 175	99, 720	△3, 408	2,907	3, 615			
四半期利益	_	5, 532	_	_	_			
その他の包括利益	_	_	_	804	588			
四半期包括利益合計		5, 532	_	804	588			
自己株式の取得	_	_	$\triangle 0$	_	_			
配当金	_	$\triangle 2,007$	_	_	_			
持分変動に伴う増減額	_	2	_	_	_			
その他の資本の構成要素 からの振替	_	$\triangle 3$	_	_	_			
所有者との取引額合計		△2,008	$\triangle 0$					
2016年12月31日時点の残高	4, 175	103, 245	△3, 409	3, 711	4, 204			
	親会社	親会社の所有者に帰属する持分						
	その他の資	本の構成要素		—— 非支配持分	資本合計			
	確定給付制度の再 測定	合計	合計	合計				

				非支配持分	資本合計	
	確定給付制度の再 測定	合計	合計			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2016年4月1日時点の残高	_	6, 523	107, 010	5, 585	112, 596	
四半期利益	_	_	5, 532	515	6, 048	
その他の包括利益	$\triangle 3$	1, 389	1, 389	$\triangle 33$	1, 356	
四半期包括利益合計	$\triangle 3$	1, 389	6, 922	482	7, 404	
自己株式の取得	_	_	$\triangle 0$	_	$\triangle 0$	
配当金	_	_	$\triangle 2,007$	$\triangle 1,359$	△3, 366	
持分変動に伴う増減額	_	_	2	$\triangle 3$	$\triangle 0$	
その他の資本の構成要素 からの振替	3	3	_		_	
所有者との取引額合計	3	3	△2,005	△1, 362	△3, 367	
2016年12月31日時点の残高		7, 915	111, 927	4, 705	116, 633	

当第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

親会社の所有者に帰属する持分

				その他の資本	本の構成要素
	資本金	利益剰余金	自己株式	在外営業活動体 の換算差額	売却可能金融資 産の公正価値の 変動
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2017年4月1日時点の残高	4, 175	104, 908	△3, 409	1,792	4, 156
四半期利益	_	7, 978	_	_	_
その他の包括利益	_	_	_	1, 335	1, 045
四半期包括利益合計	_	7, 978	_	1, 335	1, 045
自己株式の取得	_	_	_	_	_
配当金	_	$\triangle 2,057$	_	_	_
持分変動に伴う増減額	_	_	_	_	_
その他の資本の構成要素 からの振替	_	0	_	_	_
所有者との取引額合計		△2, 057			
2017年12月31日時点の残高	4, 175	110, 829	△3, 409	3, 128	5, 201

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の	の構成要素		非支配持分	資本合計	
	確定給付制度の再 測定	合計	合計			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2017年4月1日時点の残高	_	5, 949	111,624	1,530	113, 155	
四半期利益	_	_	7, 978	162	8, 140	
その他の包括利益	0	2, 380	2, 380	18	2, 399	
四半期包括利益合計	0	2, 380	10, 359	180	10, 539	
自己株式の取得	_	_	_	_	_	
配当金	_	_	$\triangle 2,057$	△131	$\triangle 2$, 189	
持分変動に伴う増減額	_	_	_	_	_	
その他の資本の構成要素	$\triangle 0$	$\triangle 0$	_	_	_	
からの振替						
所有者との取引額合計	<u> </u>	△0	△2, 057	△131	△2, 189	
2017年12月31日時点の残高		8, 329	119, 925	1,579	121, 505	

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	8, 856	11, 993
減価償却費及び償却費	8, 509	9,680
金融収益及び金融費用	△307	△458
持分法による投資損益(△は益)	7	1
固定資産除売却損益(△は益)	△48	36
棚卸資産の増減額(△は増加)	△331	△1,768
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	987	△194
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	153	1,003
退職給付に係る負債の増減(△は減少)	261	212
その他	1, 460	△251
小計	19, 549	20, 255
利息及び配当金の受取額	212	597
利息の支払額	$\triangle 144$	△198
法人所得税の支払額	△1, 738	△2, 881
法人所得税の還付及び還付加算金の受取額	1, 898	
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,777	17, 773
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,111	1.,
定期預金の預入による支出	$\triangle 1,677$	$\triangle 3,271$
定期預金の払戻による収入	392	2, 734
有形固定資産の取得による支出	$\triangle 11,906$	$\triangle 8,954$
有形固定資産の売却による収入	160	227
無形資産の取得による支出	△923	∆933
無形資産の売却による収入		∠333 4
新規連結子会社の取得による支出	_	△791
利	369	△191
関係云社の信募による収入 貸付けによる支出		
	△92	△75
貸付金の回収による収入	144	150
投資の取得による支出	$\triangle 40$	$\triangle 32$
投資の売却による収入	0	_
その他	<u>△18</u>	△87
投資活動によるキャッシュ・フロー	$\triangle 13,593$	△11, 029
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1, 003	$\triangle 1,382$
非支配持分株主からの子会社持分取得による支出	$\triangle 0$	_
自己株式の取得による支出	$\triangle 0$	_
配当金の支払額	△1, 988	$\triangle 2,039$
非支配株主への配当金の支払額	$\triangle 1,357$	△131
その他	<u>△145</u>	△73
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4, 495	△3, 627
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1, 688	3, 116
現金及び現金同等物の期首残高	23, 450	23, 474
現金及び現金同等物に係る換算差額	△156	452
現金及び現金同等物の四半期末残高	24, 981	27, 043

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは、二輪車用クラッチ事業については主に二輪事業統括が、四輪車用クラッチ事業については主に四輪事業統括がそれぞれ国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業を展開しております。したがって、当社グループは、「二輪車用クラッチ」及び「四輪車用クラッチ」の2つを報告セグメントとしております。「二輪車用クラッチ」は、オートバイ、スクーター及びATVのクラッチ等を生産しております。「四輪車用クラッチ」は、マニュアル車及びオートマチック車のクラッチ等を生産しております。

(2) 報告セグメントの収益及び業績

前第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

報告セグメント

	二輪車用クラッチ	四輪車用クラッチ	合計	調整額	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益					
外部収益	53, 494	61, 166	114, 660	_	114, 660
セグメント間収益	_	_	_	_	_
合計	53, 494	61, 166	114, 660		114, 660
減価償却費及び償却費	△3, 115	△5, 394	△8, 509	_	△8, 509
その他の損益	△44, 397	$\triangle 53,056$	\triangle 97, 454	_	\triangle 97, 454
営業利益	5, 981	2,714	8, 696		8, 696
金融収益					524
金融費用					△357
持分法による投資損益					$\triangle 7$
税引前四半期利益				_	8, 856

当第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

報告セグメント

	二輪車用クラッチ	四輪車用クラッチ	合計	調整額	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益					
外部収益	61, 209	65, 921	127, 130	_	127, 130
セグメント間収益			<u> </u>		
合計	61, 209	65, 921	127, 130	_	127, 130
減価償却費及び償却費	△3, 499	△6, 180	△9, 680	_	△9, 680
その他の損益	△49, 761	△56, 537	△106, 298		△106, 298
営業利益	7, 948	3, 203	11, 151		11, 151
金融収益					1,015
金融費用					$\triangle 172$
持分法による投資損益					△1
税引前四半期利益					11, 993